



# 歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

35号

令和5年12月8日

## 全国国保地域医療学会

東京から新幹線が開通している予定でしたが工事の遅れでもう少し開通が先になる福井県で10月6日・7日の両日、全国国保地域医療学会が開催されました。福井駅に着くとすぐに恐竜博士（写真下段）にお出迎えして頂きました。到着後には「ありがたい姿プロジェクト」の全体会議、国保直診・口腔保健研修会、国保直診歯科医師の若手の会への参加打ち合わせ、講演の座長そしてシンポジウムの司会と精力的に活動してきました。当科からの発表は、2日目に「要介護高齢者の食事形態はどのような因子に関連しているか～介護老人保健施設における調査から～」と題して高須歯科衛生士が行いました。他の施設も食形態について苦慮しているようで発表についての質問もあり、とても興味を持って聞いて貰えました。

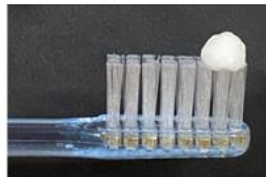


## フッ素配合歯磨剤 ～その2～

年齢  
3～5歳

使用量  
歯磨剤をグリーンピース程度  
(5mm程度)

フッ化物濃度  
1,000ppmF  
(日本の製品を踏まえ)  
(900mF～1 000mF)



### 【使用方法】

- フッ化物配合剤を利用した歯みがきを就寝前を含めて1日2回行う。
- 歯みがきの後は、歯磨剤を軽くはき出す。
- うがいをする場合は、少量の水で1回のみとする。
- 子どもが歯ブラシに適切な量をつけられない場合は保護者が歯磨剤を出す。

### 【口腔内残留フッ化物】

幼児がひとりで磨く場合のフッ化物配合歯磨剤（イオン濃度1000ppmF）使用後の口腔内フッ化物残留量は、3～5歳児の調査では0.06mg（15.3%）であり、1日3回使用しても0.18mgで有害な影響はないとの報告があります。

文責 診療部長 占部秀徳